

平成 23 年 (2011 年) 8 月 15 日号
に掲載されました



創刊 1946(昭和21)年5月1日

発行所

日本教育新聞社

〒105-8436
東京都港区虎ノ門1-2-8
電話03(5510)7777(大代表)
郵便振替 00150-8-196500
©日本教育新聞社 2011

検定福祉色彩

色の力を福祉コミュニティ ケーションに役立てる

小松原女子高校の取り組み

福祉の現場で色彩を使
つてのより深いコミュニ
ケーションを可能にする
色彩福祉検定が今、教育
の場で注目を集めてい
る。この検定は、一般社
団法人日本色彩環境福祉
協会(東京・渋谷区)が
主催するもので、福祉や
介護の現場で、色彩を用
いて、より豊かな心の交
流を可能にする人材「色
彩福祉士」を養成するも
のである。

私立小松原女子高等学
校(埼玉・さいたま市)

には、普通科5コース
(一特進選抜、進学選抜、
福祉進学、保育進学、総
合進学)がある。本年度
から従来2つあった福祉

のコースが1つになった
のをきっかけに同検定を
取り入れた授業を行って
いる。

授業の挨拶は手話で開
始され、まず最初にテキ
ストを元に色相について
の授業を受けた後、ぬり
絵状のプリントに自由に
色を塗っていく。その後、
生徒はなぜこの色を塗っ
たのか、どんな意味があ
るのかについて、自己分
析を含めてクラスメイト
に説明していった。

「何か新しい事をやっ
てみたかったんですよ
ね。一般的に女の子は色
に関心があり、親しみや
すいと思っ、なおかつ
人の心理がわかるという



のは面白いと思いまし
た」と語るのは同校の中
田美和教諭。

「現在、福祉進学コー
スの3年生の『福祉コミ
ュニケーション』の授業
に取り入れています。
『福祉コミュニケーション
』の授業では2年生の
ときに手話や点字、その
他に自己理解、他者理解
総合理解について学んで

のきっかけになってくれ
ればと思います」と語っ
てくれた。

色彩福祉検定は、色の
もつ大きな力を応用して
コミュニケーションを豊
かにし、人々の幸福に貢
献することを目的として
いるので、福祉・介護に
限らず、人に関わる仕事
で即活用することがで
き、仕事の選択肢の幅を
広げるものとしてこれか
らも期待される。

【問い合わせ】▽一般
社団法人日本色彩環境福
祉協会 〒150-0000
01 東京都渋谷区神宮
前6・25・8・6009
電話03・3406・

8714 [http://www.
color-welfare.or.jp](http://www.color-welfare.or.jp) ▽

小松原女子高等学校 〒
330-0054 埼玉
県さいたま市浦和区東岸
町10-36 電話0
48・8885・8625